

## 「ねんきんネット」を利用してみませんか？ ～ 11月30日は「年金の日」～

年金記録や将来の年金受給見込額を確認し、未来の生活設計について考えてみませんか。「ねんきんネット」を利用すると、いつでも自分の年金記録を確認できるほか、将来の年金受給見込み額を基にさまざまなパターンを試算することもできます。

### ■役場の窓口でも「ねんきんネット」を利用できます

「ねんきんネット」とは自分の年金記録をインターネットで確認することができるサービスです。役場の窓口でも「ねんきんネット」サービスを行っていますので、気軽にご利用ください。

- 対象  
国民年金、厚生年金などの加入者および受給者  
※ただし、旧法(老齢年金・通算老齢年金受給者)および共済(公務員・学校の教師など)加入中の人は、このサービスを利用できません。

- 確認できること
  - ・公的年金制度の加入履歴(共済組合加入期間を除く)
  - ・国民年金保険料の納付状況
  - ・年金見込額の試算 など

- 利用方法
  - 1) 受付場所 住民課
  - 2) 利用時間 平日 午前8時30分～午後5時15分
  - 3) 必要なもの
    - ① 運転免許証、パスポートなどの顔写真付き証明で本人確認ができるもの  
(写真の無い証明は、2種類以上の証明が必要です)
    - ② 年金手帳などの基礎年金番号がわかるもの

※代理人による申請も可能です。その際は、委任状と代理人の運転免許証、パスポートなどの顔写真付き証明で本人確認ができるもの、年金手帳などの基礎年金番号がわかるものが必要となります。

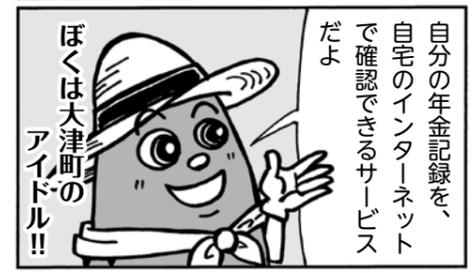
※郵送や電話などによる受付はできません。

### ■自宅で「ねんきんネット」を利用する場合

- ① 基礎年金番号を用意して、日本年金機構ウェブサイトの「ねんきんネット」ページにアクセス。
  - ② 「ねんきん定期便」に記載されているアクセスキー(17桁の数字)を使って登録。
- ※アクセスキーの有効期限は3カ月です。アクセスキーを持っていない場合や有効期限が切れた場合でも、所定の申し込み手続きをすればご利用可能です。
- 日本年金機構ウェブサイト [http://www.nenkin.go.jp/n/www/n\\_net/](http://www.nenkin.go.jp/n/www/n_net/)

■問い合わせ 役場での利用について……役場住民課 住民係 ☎096(293)3112  
自宅での利用について……熊本西年金事務所 ☎096(355)3261

### 自宅でも、役場でも



## 平成25年度 特別会計決算額

歳入	71億1,006万円	歳出	68億5,182万円
----	------------	----	------------

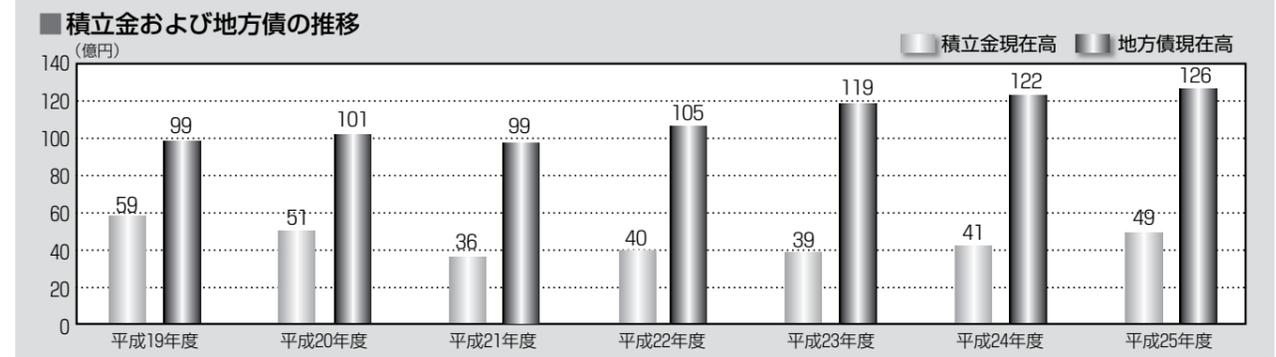
※表示単位未満を四捨五入しています。事業会計は含んでいません。

特別会計とは、特定の事業を行う場合に、特定の収入をもって支出にあて、一般会計とは別に収支経理を行うことです。大津町には、6つの特別会計と1つの事業会計があります。

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	31億3,563万円	29億9,937万円
大津町外四ヶ市町村共有財産管理処分事務受託特別会計	348万円	152万円
公共下水道特別会計	13億9,376万円	13億5,487万円
介護保険特別会計	21億8,980万円	21億1,829万円
農業集落排水特別会計	1億3,189万円	1億2,382万円
後期高齢者医療特別会計	2億5,550万円	2億5,395万円
特別会計合計	71億1,006万円	68億5,182万円
工業用水道事業会計	6,786万円	4,557万円

(※端数処理により、合計が合わない場合があります)

町の貯金と借金(平成25年度末)		
貯金	財政調整基金現在高	31億3,556万円
	減債基金現在高	3億532万円
	公共施設整備基金現在高	6億5,964万円
	その他の基金現在高	7億6,301万円
合計	48億6,353万円	
借金	地方債現在高	126億474万円



## 健全化判断比率・資金不足比率をお知らせします

平成25年度決算に基づく「健全化判断比率」と「資金不足比率」を算定しました。これらの指標は、地方公共団体の財政状況が判断でき、財政破たんを防止し、早期に健全化を図ることを目的としています。算定した比率が「早期健全化基準」を超えると、財政健全化計画の策定を行い、自主的な改善努力をしなければなりません。平成25年度の決算から比率を算定し、「早期健全化基準」と比較すると、大津町の財政は健全な状態ということが分かります。

健全化判断比率	平成25年度	平成24年度	早期健全化基準
①実質赤字比率	-	-	13.98
②連結実質赤字比率	-	-	18.98
③実質公債費比率	11.9	12.5	25.0
④将来負担比率	1.0	25.6	350.0

比率	平成25年度	平成24年度	経営健全化基準
⑤資金不足比率	-	-	20.0

※①、②、⑤は黒字のため「-」を表示しています。

④将来負担比率…将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率です。前年度比24.6%減となり、これは基金積立額などの増によるものです。

⑤資金不足比率…公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率です。大津町は、公共下水道事業会計、農業集落排水事業会計、工業用水道事業会計の各会計とも資金の不足額はありません。